

この活動は、令和4年度「緑と水の森林ファンド」の支援を受けて実施しました。

コロナに負けない 里山SDGs 2023

特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

はじめに

2022年8月10日に、青森市の浅虫森林公園で実施する予定であった森林体験イベント「コロナに負けない里山SDGs2023」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となりました。

これに代わり、「エコプロ2022」への出展(2022年12月7日～9日)、「青森市環境フェア2022」(2022年12月11日)への参加、並びに「里山SDGs展2023」(2023年6月9日～11日、独自イベント)等の室内イベントを実施しました。

1. エコプロ2022

2022年12月7日～9日の3日間。東京ビッグサイトにおいて「エコプロ2022」が開催され、「森と木で拓くSDGsゾーン」に出展しました。出展の目的は、①青森の活動を紹介すること②私たちが開発した環境教材「おどろ木」をPRすること ③コロナ禍での体験型イベントを実践して今後の活動に活かすことです。





2. 青森市環境フェア2022

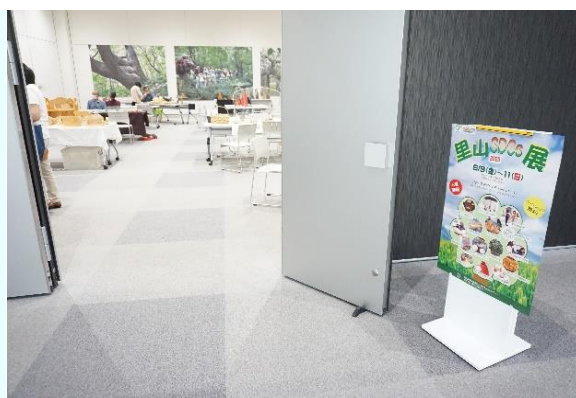
令和4年12月11日、青森市主催の「環境フェア2022」に参加し、「おどろ木づくり体験」を行いました。コロナ禍が続いており、検温、手洗い等の感染対策に加え、「飛沫防止パネル」を用いる等、コロナ禍における新たな体験学習のあり方を提案しました。



3. 里山SDGs展2023

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193カ国が2016年から2030年の15年間で達成するために17の目標を掲げました。

私たちは、里山という身近な視点から SDGs を考え、それをカタチにすることでSDGsに対する理解と共感を深めることを目的として「里山SDGs展2023」を開催しました。



◆作品とワークショップ

①田中 いさお(どんぐりアート)



考えよう 持続可能な青森の未来。



ワークショップ



②福井 強 (善知鳥彫ダルマ)



「神磨不二、万象在心、顕象在心……」



ワークショップ

③佐々木 奥男 (ストラップ)



捨てられる小枝にSDGsの心を込めました。



④一戸元（バードカービング）



ゴミの分別はSDGsの第一歩。



ワークショップ



⑤木村 利光(森のめぐみ)



森のめぐみを上手にを使って、循環社会を実現しよう。



ワークショップ



⑥澤田 百合子（籠）



アケビ蔓やブドウ蔓の手提げ籠。素朴で温かい自然の素材そのものがSDGs。



ワークショップ



⑦池田 啓子（クロモジ茶）



森林の副産物クロモジを活用して地域の持続可能性に結び付けたい。



ワークショップ



⑧竹村 松博（彫刻）



考えよう 持続可能な青森の未来。



⑨野坂 登（写真）



巨木と見守る地域のSDGs社会



⑩鶴谷 美智 (布絵)



思い出の服や着物は、
布絵となって新しい命
が吹き込まれ蘇ります。



⑪佐々木 雅久 (気学)



誰一人取り残さない持続可能な社会を作る



⑫倉谷 まゆみ（段ボールアート）



私たちの周りには創造性を刺激するものが沢山ある。



⑬澤田 新平(カラフルおどろ木)



規格外の木材をもっと活用してSDGsを実現しよう。



⑭杉本 岩雄（木のおもちゃ）



大工が孫のために作った端材を活用したSDGsな作品



⑮Rota（ヒバテーブル）



青森ヒバの限りない潜在力を感じてほしい。





法光寺の爺杉(ジスギ) 場所:青森県三戸郡南部町 推定樹齢:1000年
幹周 7.0m 青森県指定天然記念物 撮影者:野坂 登

特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

〒038-0003 青森県青森市大字石江字江渡106番地227

TEL 017-781-4612

FAX 017-781-4612

URL: <http://www.odorokikobo.com/> Email: odoroki7@bc4.so-net.ne.jp